

CASBEE-広島 (2010年ver.1)
パークホームズ'広島ホールパークシテンス

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります
 欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版
 ■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.0
Q1 室内環境			0.40					3.3
1 音環境		3.0	0.15	3.0	1.00			3.0
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40			
1.1.1 暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00			
1.1.2 設備騒音対策		-	-	-	-			
1.2 遮音		3.0	0.40	4.1	0.40			
1.2.1 開口部遮音性能	T-2以上のサッシの採用	3.0	1.00	5.0	0.30			
1.2.2 界壁遮音性能	コンクリート厚さ180mm以上	3.0	-	4.0	0.30			
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	△ LL(1)-4以上	3.0	-	4.0	0.20			
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		3.0	0.20	1.0	0.20			
2 温熱環境		2.2	0.35	3.0	1.00			2.8
2.1 室温制御		2.2	0.50	3.0	1.00			
2.1.1 室温設定		3.0	0.63	-	-			
2.1.2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
2.1.3 外皮性能		1.0	0.38	3.0	1.00			
2.1.4 ゾーン別制御性		-	-	-	-			
2.1.5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
2.1.6 個別制御		-	-	-	-			
2.1.7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
2.1.8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-			
3 光・視環境		2.3	0.25	3.5	1.00			3.3
3.1 昼光利用		1.8	0.30	4.0	0.50			
3.1.1 昼光率	リビング側に開口を大きく確保	1.0	0.60	5.0	0.50			
3.1.2 方位別開口		-	-	3.0	0.30			
3.1.3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		2.0	0.30	3.0	0.50			
3.2.1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
3.2.2 昼光制御		2.0	1.00	3.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15	-	-			
3.3.1 照度		3.0	1.00	-	-			
3.3.2 照度均斉度		-	-	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-			
4 空気質環境		4.4	0.25	4.2	1.00			4.2
4.1 発生源対策		5.0	0.60	5.0	0.63			
4.1.1 化学汚染物質	VOCを含まない又は非常に放出量の少ない建材を採用している	5.0	1.00	5.0	1.00			
4.1.2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.1.3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4.1.4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.5	0.40	3.0	0.38			
4.2.1 換気量	共用部の換気量は建築基準法を満たす1.2倍	4.0	0.50	3.0	0.33			
4.2.2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33			
4.2.3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4.2.4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		-	-	-	-			
4.3.1 CO ₂ の監視		-	-	-	-			
4.3.2 喫煙の制御		-	-	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.3
1 機能性		1.0	0.40	3.8	1.00			3.3
1.1 機能性・使いやすさ		1.0	0.60	5.0	0.60			
1.1.1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-			
1.1.2 高度情報通信設備対応	Gbitクラスのプロードバンドが利用可能な環境を整備	3.0	-	5.0	1.00			
1.1.3 バリアフリー計画		1.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		1.0	0.40	2.0	0.40			
1.2.1 広さ感・景観		3.0	-	3.0	0.50			
1.2.2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-			
1.2.3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50			
1.3 維持管理		-	-	-	-			
1.3.1 維持管理に配慮した設計		-	-	-	-			
1.3.2 維持管理用機能の確保		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.4	0.31	-	-			3.4
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-			
2.1.1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2.1.2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		4.1	0.33	-	-			
2.2.1 躯体材料の耐用年数	住宅性能評価の劣化対策等級3の規定を満たしている	5.0	0.23	-	-			
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	外壁にタイルを使用	5.0	0.23	-	-			
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.09	-	-			
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔	3種(排水用鑄鉄管、塩ビライニング鋼管、水道用ポリエチレン管)共B以上採用	5.0	0.15	-	-			
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.3 適切な更新			-	-	-	-	
2.4 信頼性			3.2	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	光ケーブルを採用、MDFの浸水の危険性がない場所に設置	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.0	0.29	3.1	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり			-	-	3.2	0.50	
1	階高のゆとり	階高2.9m以上	3.0	-	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		3.0	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地区計画により歩道空地を確保	4.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.7
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.40	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		LED照明の採用、潜熱回収型給湯器の採用	4.9	0.40	-	-	4.9
4 効率的運用			-	-	-	-	-
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水	節水型便器、節湯器具等の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.7	0.63	-	-	3.7
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	磁器質タイル、長尺塩ビシート、耐火野地板	5.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	内装材と設備が錯綜していない、分別が比較的容易	5.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22	-	-	3.2
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68	-	-	
1	消火剤	ハロン消火材を使用していない	4.0	0.33	-	-	
2	断熱材		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮		潜熱回収型給湯器の採用	4.8	0.33	-	-	4.8
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減	雨水貯留槽の設置	4.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	適切な駐車・駐輪台数確保	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告照明等の使用なし	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	